

## アジアフ通信

新型コロナウイルスの影響により物資回収とバザーを実施する事が困難な状況となりました。

例年、物資の回収は大町市の地域の皆様にご協力いただきながら活動していたのですが、今の状況では難しいと判断しました。従って、今年度は校内の生徒・保護者の皆さんからの物資支援のみでアジアフ活動をしていきます。

国内も大変な状況が続いていますが、西アフリカ・マリ共和国は慢性的に貧困が続いています。国内の状況から、私達の物資を届けてくれている NGO 法人マザーランドには支援物資が集まらなくなっているそうです。

私達の物資はマリの学校に届けられています。学校に来て一日勉強をしたら物資が一つもらえる、というように物資は子ども達に配られています。物資支援が途絶えると、学校に貧しい子どもが来なくなってしまう可能性があります。そのような事態を防ぐために、今年も物資の提供を続けることが大切だと、アジアフ係は考えました。

自分は着なくなったけれど、まだきれいで、マリの子ども達に着てほしい衣服を送りましょう。1枚ずつでもよいです。使わない毛布もあつたらご提供ください。

皆様のご協力をよろしく申し上げます。

アジアフ係長